

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

「パインブリッジ米国住宅支援機関債ファンド<為替ヘッジあり>/<為替ヘッジなし>」は2020年5月19日をもちまして繰上償還いたしました。当ファンドは主として米国政府機関・政府支援機関が発行する米国ドル建てのMBSを実質的な主要投資対象とし、安定的な収益の確保を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指しました。また、<為替ヘッジあり>は、実質組入れの外貨建て資産について原則として為替のフルヘッジを行いました。<為替ヘッジなし>は、原則として為替ヘッジを行いませんでした。ここに、運用状況および償還内容をご報告申し上げます。

長い間ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当作成期の状況

<為替ヘッジあり>

償還価額 (当作成期末)	9,539円31銭
純資産総額 (当作成期末)	13百万円
騰落率 (当作成期)	1.4%
分配金合計 (当作成期)	25円

<為替ヘッジなし>

償還価額 (当作成期末)	9,180円44銭
純資産総額 (当作成期末)	8百万円
騰落率 (当作成期)	0.3%
分配金合計 (当作成期)	25円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を再投資したものとみなして計算しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記<お問い合わせ先>ホームページの「ファンド一覧」の「償還ファンド一覧」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、当ファンドのページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。運用報告書(全体版)をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

交付運用報告書 繰上償還

パインブリッジ 米国住宅支援機関債 ファンド

<為替ヘッジあり>/<為替ヘッジなし>
<愛称：ミスターホーム>

追加型投信/海外/債券

第10作成期

(2019年12月17日~2020年5月19日)

第19期(決算日：2020年3月16日)

第20期(償還日：2020年5月19日)



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 J Aビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当

電話番号/03-5208-5858

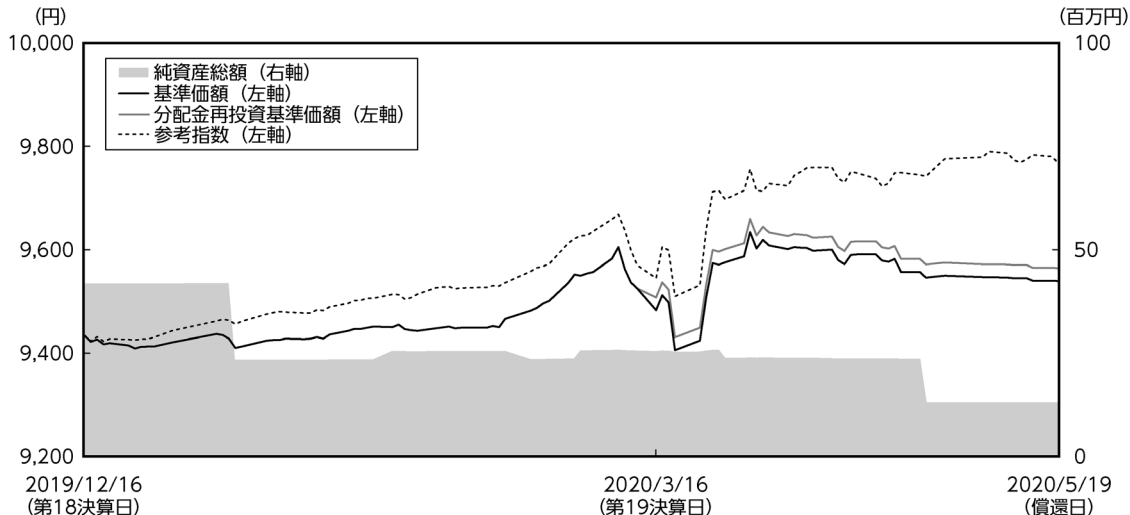
(受付時間/9:00~17:00(土、日、祝休日を除く))

ホームページ/<https://www.pinebridge.co.jp/>

運用経過 (2019年12月17日～2020年5月19日)

基準価額等の推移

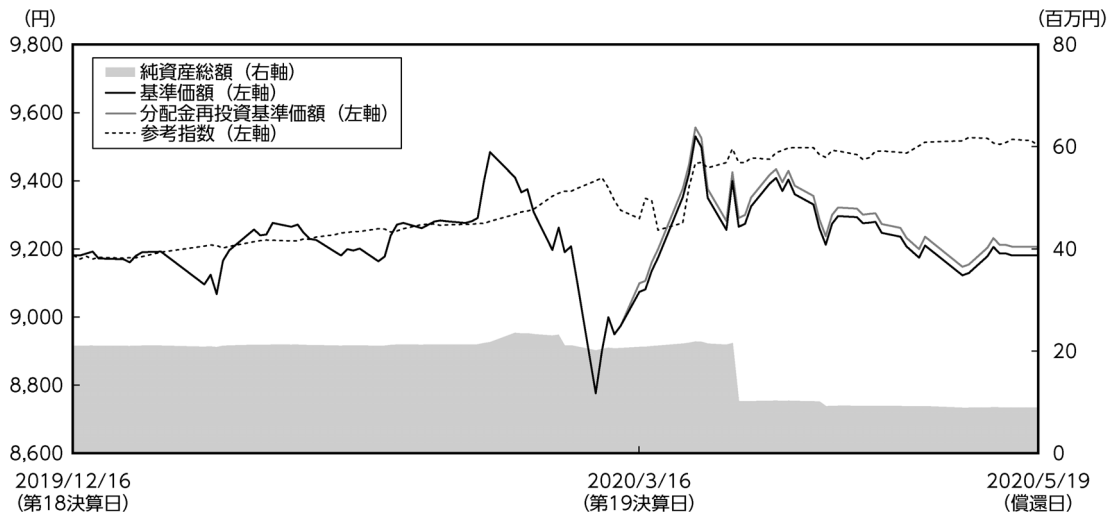
<為替ヘッジあり>



第19期首 : 9,434円
 償 還 日 : 9,539円31銭
 (作成対象期間中の既払分配金 : 25円)
 騰 落 率 : 1.4% (分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首の基準価額をもとに指数化しています。
 ※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。
 ※参考指数はブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス(米国ドルベース)です。基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。作成期首の基準価額をもとに指数化しています。

<為替ヘッジなし>



第19期首： 9,181円
 償還日： 9,180円44銭
 (作成対象期間中の既払分配金：25円)
 騰落率： 0.3% (分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首の基準価額をもとに指数化しています。
 ※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。
 ※参考指数はブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス(米国ドルベース)です。基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。作成期首の基準価額をもとに指数化しています。

基準価額の主な変動要因

<為替ヘッジあり>

投資対象であるマザーファンドの基準価額が上昇したことが、当ファンドの基準価額の変動要因となりました。

<為替ヘッジなし>

投資対象であるマザーファンドの基準価額が上昇したことが、当ファンドの基準価額の変動要因となりました。

<マザーファンド>

金利市場では、米国金利は前作成期末比では金利低下となった一方、為替市場では、米国ドル円は前作成期末比では下落しました。米国MBS市場では、信用スプレッド(国債への上乗せ金利)は前作成期末比では概ねワイド化傾向で推移しました。

1万口当たりの費用明細

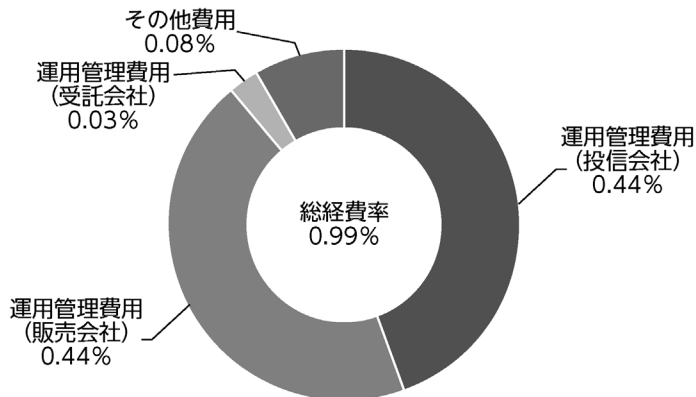
<為替ヘッジあり>

項目	第19期～第20期 (2019.12.17～2020.5.19)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	37円	0.387%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,511円です。
(投信会社)	(18)	(0.186)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(18)	(0.186)	交付運用報告書各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
その他費用	3	0.036	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.036)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
合計	40円	0.423%	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※消費税は報告日の税率を採用しています。

<参考情報> 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.99%です。



※費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
※各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
※各比率は、年率換算した値です。
※上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

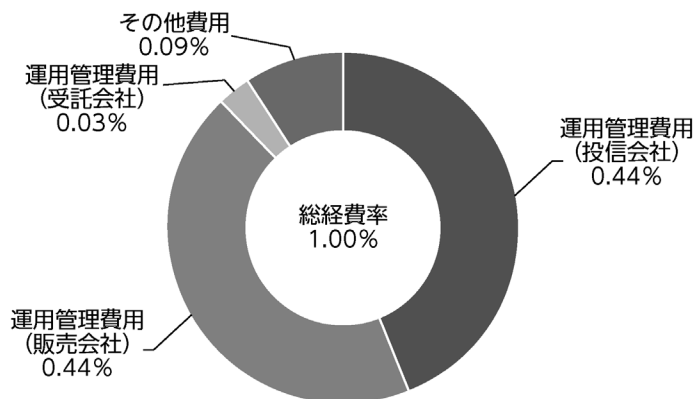
<為替ヘッジなし>

項目	第19期～第20期 (2019.12.17～2020.5.19)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	36円	0.387%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,254円です。
(投信会社)	(17)	(0.186)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(17)	(0.186)	交付運用報告書各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
その他費用	3	0.038	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.038)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
合計	39円	0.425%	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
 ※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
 ※消費税は報告日の税率を採用しています。

<参考情報> 総経費率

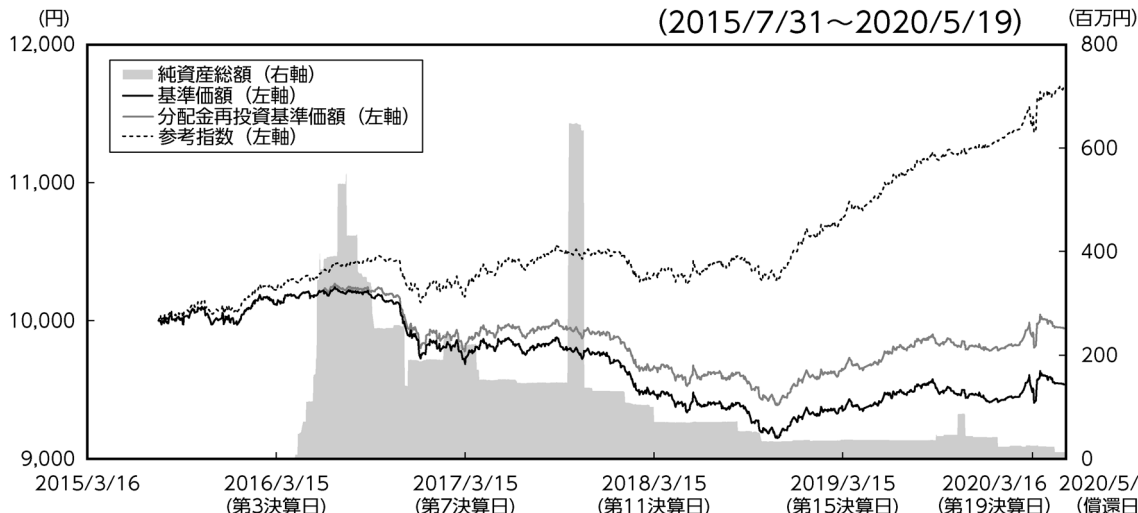
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.00%です。



※費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
 ※各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
 ※各比率は、年率換算した値です。
 ※上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

<為替ヘッジあり>



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、設定日から5年間経っていませんので、設定来の推移を表示しています。

※参考指数はブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス（米国ドルベース）です。基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。設定日の基準価額をもとに指数化しています。

※参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

	2016/3/15 決算日	2017/3/15 決算日	2018/3/15 決算日	2019/3/15 決算日	2020/3/16 決算日	2020/5/19 償還日
基準価額 (円)	10,121	9,685	9,476	9,349	9,483	9,539.31
期間分配金合計 (円)	0	100	100	100	100	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	1.2	△3.3	△1.1	△0.3	2.5	0.6
参考指数の騰落率 (%)	2.3	△0.5	1.7	3.9	6.1	2.3
純資産総額 (百万円)	2	218	70	36	25	13

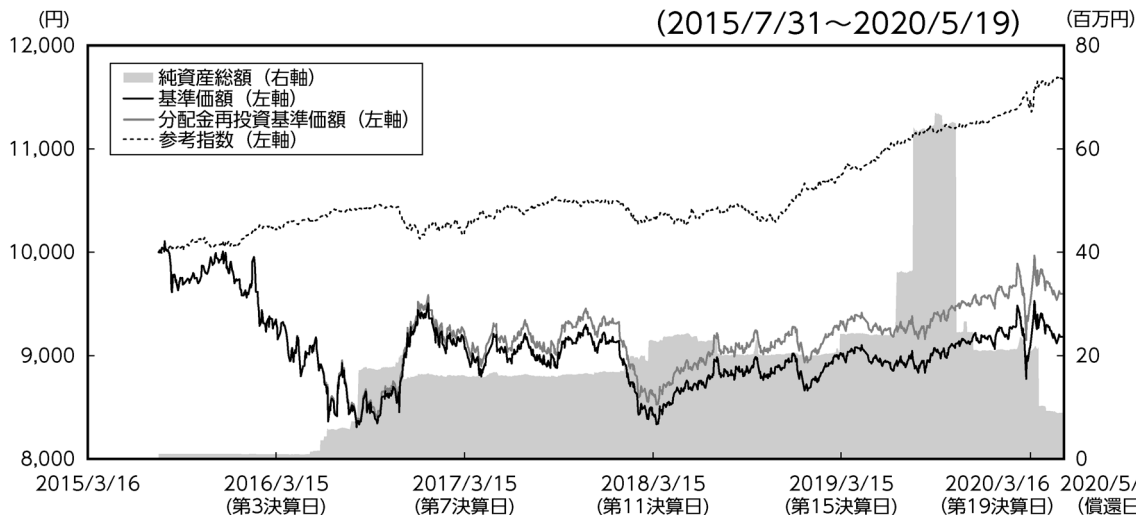
※2016/3/15決算日の騰落率は、設定日との比較を表示しています。

※2020/5/19償還日の騰落率は、2020/3/16との比較を表示しています。

●参考指数に関して

参考指数のブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス（米国ドルベース）は、ブルームバーグが算出・公表する米国のMBS市場全体の動向を反映する投資収益指数（パフォーマンス指数）で、著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、ブルームバーグに帰属します。

<為替ヘッジなし>



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、設定日から5年間経っていませんので、設定来の推移を表示しています。

※参考指数はブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス（米国ドルベース）です。基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。設定日の基準価額をもとに指数化しています。

※参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

	2016/3/15 決算日	2017/3/15 決算日	2018/3/15 決算日	2019/3/15 決算日	2020/3/16 決算日	2020/5/19 償還日
基準価額 (円)	9,350	9,134	8,430	9,027	9,074	9,180.44
期間分配金合計 (円)	0	100	100	100	100	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	△6.5	△1.2	△6.7	8.3	1.6	1.2
参考指数の騰落率 (%)	2.3	△0.5	1.7	3.9	6.1	2.3
純資産総額 (百万円)	0	16	22	24	20	8

※2016/3/15決算日の騰落率は、設定日との比較を表示しています。

※2020/5/19償還日の騰落率は、2020/3/16との比較を表示しています。

投資環境について

米国長期金利は作成期首より堅調な入札、軟調な経済指標、新型コロナウイルスに対する懸念、緊急利下げ、株安を背景に低下しました。その後財政支出に対する期待や軟調な入札を背景にやや戻す展開となりましたが、ハト派的なFOMC（米連邦公開市場委員会）高官発言、軟調な経済指標、量的金融緩和期待を背景に再度低下基調で推移しました。作成期末にかけては横ばい圏内での推移となり前作成期末比では金利低下となりました。

米国MBS市場では、信用スプレッドは前作成期末比では概ねワイド化傾向で推移しました。米国ドル円は新型コロナウイルスに対する懸念等を背景に前作成期末比では下落しました。

ポートフォリオについて

<為替ヘッジあり>

当ファンドの運用方針に基づき運用を行いました。2020年5月19日の当ファンドの償還に向けてポートフォリオの現金化を図りました。

<為替ヘッジなし>

当ファンドの運用方針に基づき運用を行いました。2020年5月19日の当ファンドの償還に向けてポートフォリオの現金化を図りました。

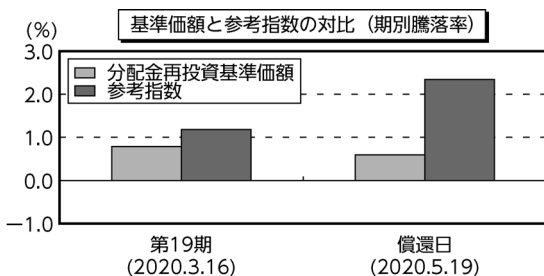
<マザーファンド>

当ファンドの運用方針に基づき運用を行いました。2020年5月18日の当ファンドの償還に向けてポートフォリオの現金化を図りました。

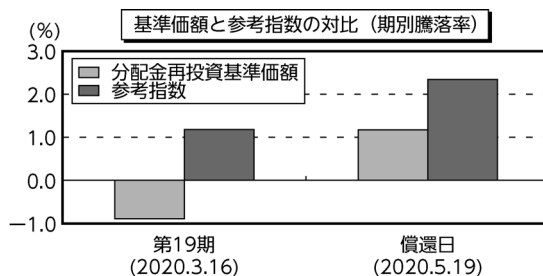
ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額（分配金再投資基準価額）と参考指数の騰落率の対比です。なお、参考指数は米国ドル建てであり、当ファンドの運用成果と連動するものではありません。

<為替ヘッジあり>



<為替ヘッジなし>



分配金について

<為替ヘッジあり>

当作成期の収益分配金につきましては、期中に受取りましたインカム収入を中心に、第19期25円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

●分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項 目	第19期
	2019年12月17日～2020年3月16日
当期分配金	25
(対基準価額比率)	0.263
当期の収益	25
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	629

<為替ヘッジなし>

当作成期の収益分配金につきましては、期中に受取りましたインカム収入を中心に、第19期25円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

●分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項 目	第19期
	2019年12月17日～2020年3月16日
当期分配金	25
(対基準価額比率)	0.275
当期の収益	25
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,430

※「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」と「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から、それぞれ当期の分配に充当した額の合計を表示しています。なお、「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

お知らせ

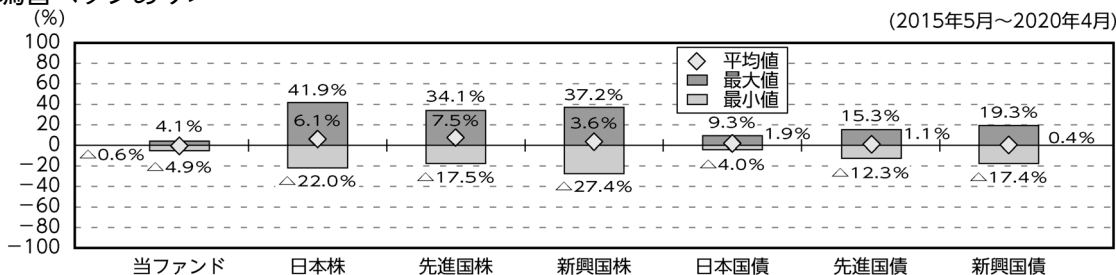
当ファンドは2020年3月17日現在の受益者の皆様を対象に、書面による決議を行った結果、議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上にあたる賛成をもって可決されましたので、2020年5月19日をもって信託を終了（繰上償還）することといたしました。

当ファンドの概要

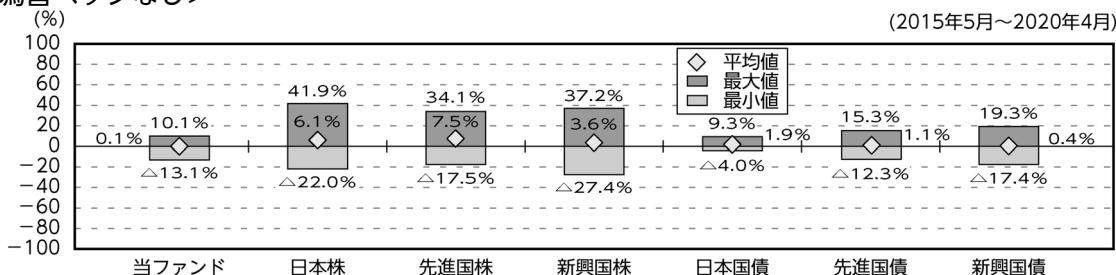
商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2015年7月31日から2020年5月19日（当初2025年7月31日）まで	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・パインブリッジ米国MBSマザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、米国政府機関・政府支援機関が発行する米国ドル建てのMBSに限定して投資を行うことで、信用リスクの低減を図ります。 ・マザーファンドの運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー（PineBridge Investments LLC）に外貨建て資産の運用に関する権限を委託します。 <p><為替ヘッジあり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実質組入れの外貨建て資産については、為替変動リスクを低減するため、原則として為替のヘッジを行います。 <p><為替ヘッジなし></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実質組入れの外貨建て資産については、原則として為替のヘッジを行いません。 	
主要投資対象	<為替ヘッジあり>	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	<為替ヘッジなし>	
運用方法	マザーファンド	米国政府機関・政府支援機関が発行する米国ドル建てのMBSを主要投資対象とします。
	<為替ヘッジあり>	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資は、転換社債の転換請求、ならびに転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得するものに限り、実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建て資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	<為替ヘッジなし>	
分配方針	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資は、転換社債の転換請求、ならびに転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得するものに限り、投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建て資産への投資割合には、制限を設けません。
		毎年3、6、9、12月の各15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

<参考情報>代表的な資産クラスとの騰落率の比較

<為替ヘッジあり>



<為替ヘッジなし>



※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記グラフは、2015年5月~2020年4月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、当ファンドは2015年7月31日設定のため、2016年7月から2020年4月までの平均値・最大値・最小値を表示しています。

※上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) 配当込み

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (配当込み・円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (ヘッジなし・円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

東証株価指数 (TOPIX) 配当込みは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。

MSCIコクサイ・インデックス (配当込み・円ベース) およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース) は、MSCI Inc.が開発した指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が作成している指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属しています。また、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより算出および公表されている債券指数であり、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (ヘッジなし・円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表する指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容（2020年5月19日現在）

<為替ヘッジあり>

償還日現在における有価証券等の組入れはありません。

純資産等

項 目	第19期末	第20期末
	2020年3月16日	2020年5月19日
純資産総額	25,487,588円	13,039,937円
受益権総口数	26,878,426口	13,669,691口
1万口当たり基準価額	9,483円	—
1万口当たり償還価額	—	9,539円31銭

※当作成期間（第19期～第20期）中における追加設定元本額は4,263,964円、同解約元本額は34,974,753円です。

<為替ヘッジなし>

償還日現在における有価証券等の組入れはありません。

純資産等

項 目	第19期末	第20期末
	2020年3月16日	2020年5月19日
純資産総額	20,800,731円	8,956,938円
受益権総口数	22,923,009口	9,756,544口
1万口当たり基準価額	9,074円	—
1万口当たり償還価額	—	9,180円44銭

※当作成期間（第19期～第20期）中における追加設定元本額は2,169,936円、同解約元本額は15,298,800円です。

組入ファンドの概要

パインブリッジ米国MBSマザーファンドの組入資産の内容（2020年5月18日現在）

●基準価額の推移



償還日現在における有価証券等の組入れはありません。

●1万口当たりの費用明細

項 目	
その他費用	11円
(保管費用)	(11)
合 計	11円

※基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分、1万口当たりの費用明細は、組入マザーファンドの直近の決算日現在のものです。なお、費用項目については3～4ページの注記をご参照ください。

※運用経過については、運用報告書（全体版）をご参照ください。